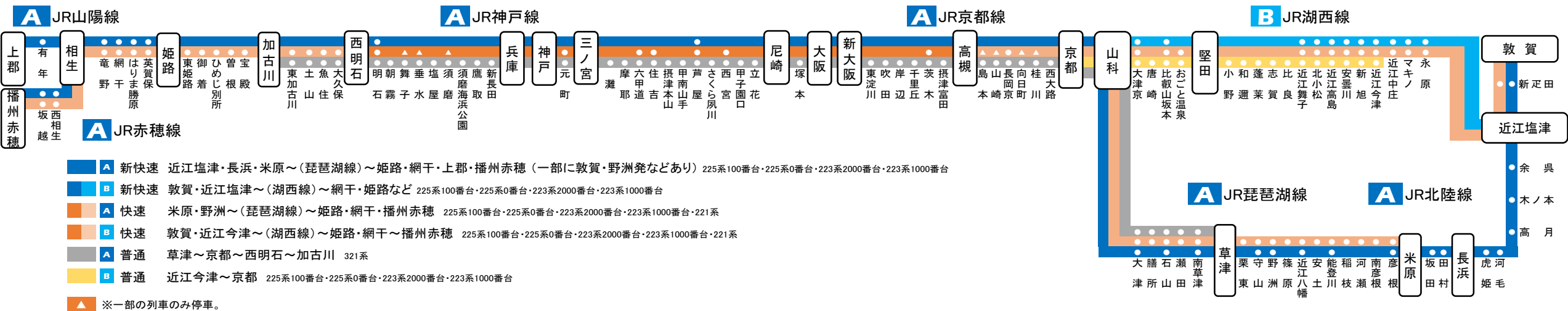


歴史ある複々線区間を走る「新快速」の最新形が登場！

225系100番台「新快速」 4両セット/8両セット

225系100番台「新快速」と仲間たちの運転区間と停車駅



※新快速を中心とした主な運用のみを表記、運転される車両も主な区間と車種を表記しました。これ以外の運用もあります。

方向別複々線で並走、すれ違い。683系・321系・225系0番台も揃えよう!!



昭和30年代までにほぼ完成していた京阪神間複々線区間の速達サービスとして、競合する私鉄に対抗し、昭和45年（1970）10月に登場したのが「新快速」です。

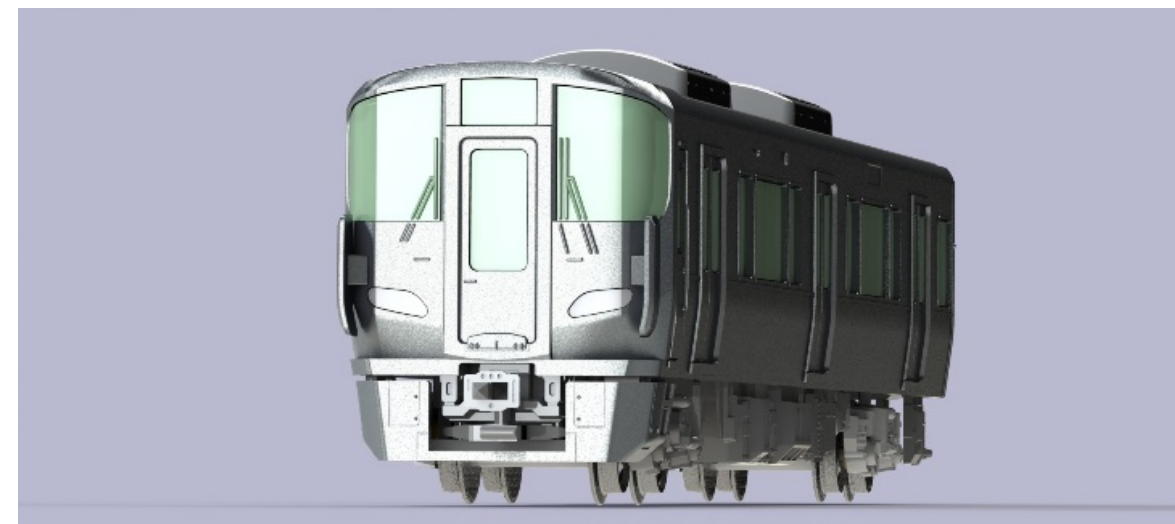
「新快速」に充当される電車は、昭和47年（1972）以降153系・165系・117系・221系・223系と代替りし、平成22年（2010）に登場した225系 0番台の2次車として、平成28年（2016）に投入されたのが最新形の225系100番台です。

225系100番台の特徴は、カラーリングなど全体イメージを継承しつつも、同時期に増備された521系3次車、227系と類似の前面形態となり、種別と行先表示にはフルカラーLEDが使用されている事など、最新のトレンドにアップデートされていることです。

KATOは、153系以降、歴代「新快速」用車両をすべてNゲージで製品化してまいりました。東は敦賀・米原から西は播州赤穂・上郡まで運転される「新快速」の最新形式225系100番台を、一緒に運行されている225系0番台、223系2000番台、221系、321系、特急「サンダーバード」683系などと並べて、歴史ある複々線区間の運転を再現してください。

これが、KATOの225系100番台だ！

4両セット、8両セット共に前面・側面行先表示は路線番号が掲げられた「A 新快速 姫路」が印刷済。交換用前面表示部品は4両セット「A 新快速 長浜」と「B 新快速 敦賀」、8両セットは「A 新快速 米原」と「B 新快速 近江今津」が付属。装備が進む転落防止幌はユーザー付部品として付属します。



223系などと併結可能なフック付カプラー
(※前面のみ、中間車はフック無し)



転落防止幌 (ユーザー取付)

